

主催：（公財）日本体操協会 主管： 東京都体操協会

後援：（一財）上月財団

協賛：テーブルマーク・日本航空・三菱地所・明治・ミズノ・セイコーホールディングス・シミズオクト
セノー・東武トップツアーズ

- 1 期 日 2021年12月 8日（水）～12日（日）
 12月 8日（水）会場設営
 12月 9日（木）女子本会場練習／男子サブ会場練習

 12月10日（金）男子本会場練習／女子サブ会場練習／女子監督会議

 12月11日（土）女子審判会議／女子団体決勝／表彰式／男子サブ会場練習／男子監督会議
 ※インターネット配信
 12月12日（日）男子審判会議／男子団体決勝／表彰式
 ※インターネット配信

- 2 会 場 国立代々木競技場第1体育館
 〒150-0041 東京都渋谷区神南2-1-1 TEL：03-3468-1171（代表）

3 参加資格と条件

男子団体

- ① 年齢制限は、中学3年生以上とします。
 ② 団体チーム出場は「別表1・通過基準」に該当することとします。
 ③ チーム補欠としての登録選手は2名までとします。

<別表1・男子通過基準>

2021年度開催の下記大会の成績により出場権を与えます。

インターハイ2チーム	2
全日本ジュニア選手権（1部）1チーム	1
ジュニアナショナル選手を対象とする選抜チーム1チーム	1
「全日本学生選手権（1部・2部）」、「全日本シニア選手権（1部）」 上記2大会における得点を順に並べ上位12チーム ※大会結果とは別に6-6-4で通過順位を決定する	12

女子団体

- ① 年齢制限は12歳以上（2021年12月31日までに達する者）とします。
 ② 団体チーム出場は「別表2・通過基準」に該当することとします。
 ③ チーム補欠としての登録選手は2名までとします。

<別表2・女子通過基準>

2021年度開催の下記大会の成績により出場権を与えます。

「全日本ジュニア選手権（1部）」、「全日本学生選手権団体選手権（1部・2部）」、「全日本シニア選手権（1部）」 上記3大会における得点を順に並べ上位16チーム ※大会結果とは別に6-6-4で通過順位を決定する	16
--	----

注意事項 ※2021年度の選手登録を済ませた者として。

- ① 18歳未満（大会時）の参加者は、ドーピング・コントロールに関する同意書を提出して下さい。
 ② 外国籍選手の出場はチーム1名までとします。（短期ビザではない滞在証明書の写しを提出して下さい。）

4 競技に関する注意事項

採点規則

- ① 男子は2017年版採点規則および男子体操競技情報最新号までを適用します。
- ② 女子は2017年版採点規則および女子体操競技情報最新号までを適用します。

競技規則（2021年版F I G競技規則に準ずる）

競技方法

- ① 各組2チームずつ編成し、1名ずつ交互に演技を行うFIG決勝方式とします。
- ② 男女とも6名の選手の内、3名が演技を行い、その合計得点を得点とします。
- ③ オーダーおよび補欠選手との交代の提出は監督会議前までに行ってください。
- ④ 演技を行う選手の申告は、各ローテーション開始の挨拶を行う際に、変更の有無にかかわらず、D1審判に行ってください。
- ⑤ 班編制

- 男子のⅡ班は、全日本シニア選手権と全日本学生選手権の得点を並べて上位6チームで成績順に当てはめます。Ⅰ班は全日本シニア選手権得点と全日本学生選手権大会の得点を並べて下位6チームで成績順に編制します。ジュニアチームは原則上記チームの種目に続けて当てはめ、ジュニア選抜チームはⅠ班跳馬後半グループに編制しオープン参加とします。
※2019年度ジュニアの2チームが8位以内に入ったため、2021年度のジュニア出場上位2チームは2班にシードされます
- 女子は全日本団体選手権通過順位の上位8位チームをⅡ班に編成し、下位8チームをⅠ班にFIG決勝方式で編成します。

器械器具について

- ① 本大会はセノー社製（2021年製品カタログ版）を使用します。※ポディウムの設置を行います。
- ② サブ会場10種目を設営します。

跳躍板について

- ① 「跳馬」はハードタイプ（3-3-2）・ソフトタイプ（3-1-2）を使用します。
(注)バネの取り外しはできません
- ② 「平行棒」、「段違い平行棒」、「平均台」については、ソフトタイプを使用します。

女子ゆかの音楽について

伴奏曲はデーターでの提出とします。提出方法は別途連絡します。データーのエラーに備え、各自CDを準備し携行してください。1枚につき1曲のみとし、通常の再生機器で再生できるものを大会用として準備下さい。

5 表彰

- ① 男女優勝チームには優勝杯を授与します。
- ② 1位～3位にメダル（決勝の正選手6名）と賞状を、4～6位には賞状を授与します。
- ③ 同点は同順位として表彰します。

6 運営に関する事項について

- ① AD（Accreditation）カードについて

本協会へ役員、指導者または選手登録を完了した方のみADカードは発行されます。申込時に役職氏名を明記してください。会場では必ず見える位置に着用をお願いします。

※各所属へのADカードの発行枚数と条件は、以下の通りといたします。

役 職	配布枚数
部 長：男女の選手が出場のチームでも1名分とします。会場練習時は競技エリアに入ることができます。競技中は選手団席での観戦となります。	1
監 督：男女の選手が出場のチームの場合、合計で2名分発行します。会場練習時は競技エリアに入ることができます。競技中は競技エリア外（フェンスの外側）まで入ることができます。	1
選 手：正選手6名および補欠選手2名とします。	8
コーチ：競技中に競技場内に入れるコーチは2名とします。	4

トレーナー：男女の選手が出場のチームの場合、合計で2名分発行します。競技中は競技エリア外で待機してください。治療などを要する場合は競技エリア内に入ることができます。

1

② 大会保険ならびに大会期間中の怪我について

本協会の費用負担にて、参加選手に対して大会期間中スポーツ傷害保険をかけます。発生した傷害の補償についてはスポーツ傷害保険の範囲とします。
競技中の疾病、負傷に対する応急処置は主催者側で行いますが、その他の責任は負いません。

※大会参加者は健康保険証を持参してください。

③ ドーピング検査について

本大会は、日本アンチ・ドーピング規程に基づくドーピング・コントロール対象大会となります。出場者は大会参加申込が完了した時点で日本アンチ・ドーピング規程にしたがい、ドーピング・コントロール手続きの対象となることに同意したものとみなします。また、18歳未満（大会時）である場合は、本大会への参加により親権者の同意を得たものとみなします。

本大会出場者は、本大会において実施されるドーピング検査（尿・血液等検体の種類を問わず）を拒否又は回避した場合、検査員の指示に従わない場合、帰路の移動等個人的諸事情によりドーピング検査手続きを完了することができなかった場合等は、アンチ・ドーピング規則違反となる可能性があります。アンチ・ドーピング規則違反と判断された場合には、日本アンチ・ドーピング規程に基づき制裁等を受けることになるのでご留意下さい。

- 血液検査の対象となった競技者は、採血のため、競技終了後2時間の安静が必要となりますのでご留意ください。

日本アンチ・ドーピング規程の詳細内容およびドーピング検査については、（公財）日本アンチ・ドーピング機構のウェブサイト(<http://www.playtruejapan.org>)で確認して下さい。また本大会はTUE事前申請が必要となる競技会として指定されております。TUE事前申請についてはJADAウェブサイト <http://www.realchampion.jp/process/tue>で確認して下さい。

本大会に参加する18歳未満の競技者は、親権者の署名した同意書を大会に持参し携行して下さい。親権者の同意書フォームは、日本アンチ・ドーピング機構（JADA）のウェブサイト (<https://www.playtruejapan.org/jada/u18.html>)からダウンロードできます。18歳未満の競技者はドーピング検査の対象となった際に、親権者の署名が記載された当該同意書を担当検査員に提出して下さい。なお、親権者の同意書の提出は18歳未満時に1回のみで、当該同意書の提出後に再びドーピング検査の対象となった場合は、すでに提出済みであることをドーピング検査時に申し出て下さい。ドーピング検査会場において親権者の同意書の提出ができない場合、検査後7日以内にJADA事務局へ郵送にて提出して下さい。親権者の同意書の提出がなかった場合でも、ドーピング・コントロール手続きに一切影響がないものとします。

④ 炭酸マグネシウムについて

各所属で持参した炭酸マグネシウムを使用してください。

⑤ 演技写真撮影およびSNSによる広報活動について

本大会は記録のため写真および映像を撮影します。本協会が定める競技者規程第8条に従い、各選手の肖像利用に関しては大会参加申込みにより了解を得たものとします。また、出場選手の記録のため、本協会指定の写真販売業者が撮影した画像を出場選手とその関係者に限定して販売を行います。また、大会期間中、総務委員会へこの事業への不参加を申し出て、関係者を含め、一切の自身の演技写真掲載や利用を禁止することができます。

所属あるいは選手自身の記録のための撮影を希望する方は、大会参加申込み時に申告し「撮影許可証」を取得してください。「撮影許可証」は1所属（男女別）につき3枚を上限として発行します。撮影の際は「撮影許可証」を必ず身につけて撮影してください。

競技普及や体操への人気拡大を目的として、本協会が定めるソーシャルメディア運用管理規程にもとづく画像、映像の撮影やインタビューを依頼することがあります。撮影した画像、映像は協会ソーシャルメディア（公式HP、Twitter、Facebook、Instagram）に掲載致します。ご協力をお願いいたします。また、大会期間中、広報委員会へこの事業への不参加を申し出て、関係者を含め、一切の自身の演技写真掲載や利用を禁止することができます。

⑥ 「ネット・動画を活用したスポーツ団体の収益化プラン策定に向けてのトライアル」を実施する予定です。

⑦ 所属の車両乗り入れについて

- ・ 本大会は出場選手の輸送などを目的とした各所属の車両の乗り入れを認めます。応援目的や事前に申請のない車輛、駐車許可証がない車両は乗り入れを認めません。
- ・ 車両乗り入れを希望する場合は、大会参加申込み時に申請を行ってください。
駐車スペースの関係から、各所属からは最小台数にて申告して下さいますようお願いいたします。
- ・ 大会会期中は「駐車許可証」を大会実施本部より受け取り、車両の見える場所に置いてください。あらかじめ指定された入口から入り、指定された場所に駐車してください。
- ・ 夜間留置きをする場合は大会本部に届けるとともに許可を得てください。

7 参加申し込み

期 日 団体：2021年11月15日（月）～11月19日（金）

申込方法 大会申込は<http://jga-web.jp/>にて行います。なお、参加申込終了後に棄権した場合でも参加料の返金は致しませんのでご了承ください。

参加料 団体1所属につき 30,000円

※JASRAC（日本音楽著作権協会）負担金 女子選手のみ1名につき500円

（団体は3名の演技となるので1所属1,500円）

連絡先 〒160-0013 東京都新宿区霞ヶ丘町4番2号 JAPAN SPORT OLYMPIC SQUARE 8階

（公財）日本体操協会 TEL 03-6455-4037 FAX 03-6455-4038

「第75回全日本体操団体選手権大会 参加申込」係

8 帯同審判員の派遣について

男女とも団体選手権に参加する所属は、1種審判資格を有する1名の審判員を派遣しなければなりません。派遣できない場合には、審判員委嘱費として50,000円を納入してください。

※届け出期限 2021年10月29日（金） 大会連絡先まで届け出てください。

9 その他

- ① 競技時程・会議時程等は、参加者及び関係者に追って連絡することとします。
- ② 上記出場資格以外の内容は変更の場合があります。